

◆津波警報等の種類

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。その後「予想される津波の高さ」、「津波の到達予想時刻」等の情報を発表します。

マグニチュード8を超える巨大地震の場合

「巨大」という言葉を使った大津波警報で、非常事態であることを伝えます。

●**マグニチュード8を超える巨大地震の場合**は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、その海域における**最大級の津波を想定して**、大津波警報や津波警報を発表します。これにより、津波の高さを小さく予想することを防ぎます。

●この時最初の津波警報では、予想される津波の高さを**「巨大」、「高い」という言葉**で発表し**非常事態**であることを伝えます。

※「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来ると思って、ただちにより高い場所に避難しましょう。

正確な地震の規模がわかった場合

予想される津波の高さを1m、3m、5m、10m、10m越の5段階で発表

●これまで8段階で発表していた予想される津波の高さについて、被害との関係や、予想される高さがおおきいほど誤差が大きくなることを踏まえ、**5段階**に集約。

●津波警報等の発表には、**各区分の高い方の値**を、予想される津波の高さとして発表します。

種類	予想される津波の高さ		とるべき行動
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の発表	
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	<ul style="list-style-type: none"> ●木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 ●沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や津波避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 ●津波警報が解除されるまで安全な場所から離れない。
	10m (5m<高さ≤10m)		
	5m (3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	<ul style="list-style-type: none"> ●標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 ●沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や津波避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 ●津波警報が解除されるまで安全な場所から離れない。
津波注意報	1m (0.2m<高さ≤1m)	表記しない	<ul style="list-style-type: none"> ●海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 ●海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。 ●津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしない。

※3mから5mの間の津波が予想された場合「予想される高さは5m」と発表します。